

新鮮！情報便



【<タイトルエリア>…第37号】

発行：東京海上日動 代理店エコー保険

<<<<<巻頭言エリア>>>>>

INDEX-----

時の話題：「衣替え」

この日の出来事(10月16日～10月31日)

時の話題「衣替え」

春夏秋冬と季節の移り変わりがはっきりしている日本では、季節に応じて衣服を変える習慣があります。

今年も夏物から秋冬物へと衣替えのシーズンがやってまいりました。

「衣替え」は平安時代に宮中の行事として始まった習慣で、旧暦の4月1日と10月1日に、衣類はもとより、調度品なども季節に合わせて入替えが行われていました。

現在のように6月1日と10月1日に衣替えを行うようになったのは明治に入ってからで、学校や官公庁、制服のある企業などはこの日に夏服と冬服を衣替えする習慣があります。

夏物をしまうにあたって気をつけたいのは汗によるシミです。衣類に残った汗は、ほんの少しのものでも、シミや黄ばみの原因となります。翌年の夏にがっかりしないよう、しまう前に入念に洗濯しましょう。着る頻度の高かった服は二度洗いがおすすめです。

湿気があるとカビの原因にもなりますので、しっかり乾燥させてからしまいましょう。

きれいにお手入れした服も、それを収納する場所が汚れていては台無しです。収納場所の掃除もお忘れなく。

引き出しにしまう際は、湿気は下の方へこもる性質がありますので、上段に絹、カシミアなどのデリケートなものを、下段に比較的湿気に強い綿や麻のものをしまうのがおすすめです。

また、適度なゆとりがないと、シワや型崩れの原因となりますので、衣類は詰め込みすぎないように容量の8分目くらいが目安です。

防虫剤から出る成分は空気よりも重いので、防虫剤は衣類の上の方に置くのが効果的です。種類の違う防虫剤を混ぜて使用するのはいけません。衣類にシミをつくる場合がありますので、避けましょう。

夏物を何枚かすぐ取り出せる場所に収納しておく、暑さを感じる日もある季節の変わり目には重宝します。

しまっていた服を出した際に、折ジワの気になる服は、アイロンのスチームをあてたり、お湯を張った浴室に一晩吊るすなどすると効果的です。防虫剤のにおいは吊るした状態で

扇風機の風などをあてると解消します。

衣替えは衣類を見直す良いチャンスです。今シーズンも一度も着なかったといった服が眠っていませんか？

衣類にも寿命があると言われていています。Tシャツ・Yシャツ・セーター類は2年、スカートも2～3年が目安となっています。収納容量を見極めて、その容量を超える場合は、古い衣類に見切りをつけて捨てることも賢い衣替えのひとつです。

衣類だけでなく、実は人間の肌も衣替えをしています。春や秋になると皮膚の細胞の入れ替わりが活発になり、古い角質がいつもよりよくとれるとのこと。

上手に衣替えをして、次の季節を迎えましょう。

この日の出来事(10月16日～10月31日)

過去の10月16日～10月31日に起きた代表的な出来事を取り上げます。

1967/10/18

ミニスカートの女王ツイッギーが来日し、ミニスカートブームが起こる。

1987/10/19

ブラックマンデー。ニューヨーク株式市場の株価暴落を発端に世界同時株安となった。

1962/10/22

キューバ危機。ジョン・F・ケネディ米大統領がキューバ海上封鎖を表明した。

1956/10/23

ハンガリー動乱。ハンガリーの首都ブタペストでソ連軍の撤退などを求める20万人のデモ隊が治安警察と衝突。

今日のハンガリーでは「1956年革命」と称されている。

1929/10/24

暗黒の木曜日。ニューヨーク株式市場(ウォール街)の株価が大暴落し、世界規模の恐慌が始まる。

1909/10/26

伊藤博文が哈爾濱(ハルピン)で安重根に暗殺される。

享年69(68歳没)。

1993/10/28

ドーハの悲劇。サッカー・ワールドカップアジア最終予選で、ロスタイムでイラクに得点され引き分けとなり、本大会への出場を逃す。

2000/10/30

シドニーオリンピックで女子マラソン金メダルを獲得したQちゃんこと高橋尚子に国民栄誉賞が贈られる。

<<<<編集後記エリア>>>>

【タイトルエリア】発行元：東京海上日動火災保険(株)
代理店エコー保険